保証書

株式会社 カスタム

保証規定

本器は当社基準に基づく検査により合格したものです。下記の保証規定により保証いたします。

1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じました場合は無償で修理いたします。
2. 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
3. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
   a 不適当な取扱い、使用による故障
   b 設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による故障
   c 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
   d その他当社の責任とみなされない故障

型番	RT-100	シリアルNo.	
保証期間	年　月　日 より1ヵ年		
お客様	お名前　様		
	ご住所		
	電話番号		
販売店	住所・店名		

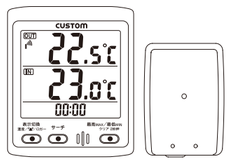
販売店様へ　お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください。

株式会社 カスタム
〒101-0021東京都千代田区外神田3-6-12
TEL（03）3255-1117　FAX（03）3255-1137
http://www.kk-custom.co.jp/

150402

CUSTOM
TOKYO JAPAN

無線温度計
RT-100



取扱説明書

このたびは当社の無線温度計をお求めいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保管してください。

安全にご使用いただくために

本器を安全に、末永くご使用いただくために、以下の事項をお守りください。
本文内の ⚠（危険）は、使用者が感電事故等を起こす可能性を避けるための記号です。また、⚠（警告）は、本器を長期間にわたって損傷を防ぎ良好な状態でご使用頂くための記号です。

⚠ 危険

損傷や火災事故防止のため、電子レンジなど、マイクロ波加熱炉での温度測定は絶対に行わないでください。

⚠ 危険

電池は、幼児の手の届かない場所で交換、保管してください。万が一、飲み込んだばあいには直ちに医師に相談してください。
また、使用済の電池は直ちに破棄してください。電池を加熱すると破裂する恐れがありますので、絶対に火の中へ入れないでください。

ご使用上の注意

冬季間の室外での使用は、本体の温度低下により応答速度が遅くなることがあります・暖房器具などの周辺でのご使用は、本体のプラスチック部の変形・故障の原因になったり、電池の消耗が常温での使用に比べて早くなります。

直射日光のあたる場所でのご使用、夏期の車内での放置はやめてください。
極端な温度変化のある環境でのご使用は、結露の原因になりますので、注意してください。

この無線温度計は、同一の場所に於いて2組以上同時に使用することは避けてください。
混信を起こしデータが正しく表示しないことが有ります。

防水について

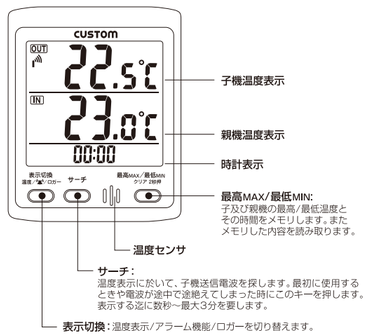
子機は防滴構造ですが、親機は防滴構造ではありません。屋外での測定時の雨、雪などの天候のとき、あるいは、プールなど、水がかかりやすい場所での測定時は、本器の防水には十分注意してください。

1. 特長

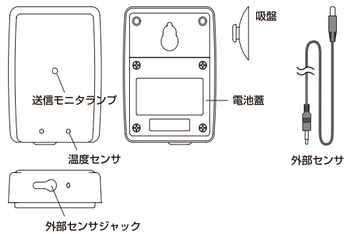
- ●大型で見やすい液晶表示。
- ●親機、子機のセンサで測定したデータを、親機で同時に表示します。
- ●子機は無線で測定したデータを親機に送りますので、別室や離れた場所に設置でき大変便利です。
- ●24時間表示の時計機能付。
- ●現在時刻から過去12時間の温度を自動メモリ（毎時30分毎）し、参照できます。
- ●温度測定中の最大値、最小値とその時刻を常に自動的に更新し、メモリします。
- ●子機は空中の温度を測定できますが、付属の外部センサの使用により水中や土壌の温度も測定が可能になる優れものです。
- ●子機での温度測定時に設定温度以上、又は以下になった時、アラームが鳴るように設定が可能です。

2. 各部の名称

●親機



●子機



3. はじめに

（1）ご購入後、使用される前に電池を親機、子機にそれぞれ入れてください。
電池を入れる場合、親機の電池を最初に入れ、次に子機を入れてください。
電池の入れ方は、「電池の交換」の項を参照してください。

（2）親機及び子機の電池を入れ終わったら親機の表示を確認します。
子機温度表示部、親機温度表示部に各温度表示がされれば準備完了です。
もし、子機温度表示部に温度表示がされない場合はサーチキーを押し、数分間待ってください。

（3）時刻設定
温度表示の確認ができたら時刻設定をします。
時刻設定が無いとロガーや最高／最低温度メモリの機能が正しく動作しません。次の手順で時刻を設定してください。

表示切換キーを3秒以上押し続けると、時刻設定モードになります。

設定画面

最高MAX／最低MINキーで各桁の数値を設定、サーチキーで桁送りします。
時刻設定及び表示は24時間方式です。
設定が完了したら、**表示切換キー**を押します（決定）。
設定時刻の00秒より時計スタートします。

4. 使用方法

（1）**表示切換キー**による各機能の選択ができます。
表示切換キー押すと次に示す各機能が選択できます。

温度表示機能→アラーム機能→ロガー機能

●**温度表示**
通常はこの状態で使用します。子、親機の温度表示します。

上部画面：子機温度
中段画面：親機温度
下部画面：時計

【ご注意】
子機からのデータの送信が3分に一回です。従って、子機の表示更新は3分毎になります。親機温度の表示更新は10秒毎です。

アンテナマーク、子機の電波が正常に受信中はフラッシングします。フラッシングが停止の時は、子機の電波をサーチしている時です。アンテナマークが ▌ の状態のときは電波が途絶えているか、受信機能が停止している時です。**サーチ**キーを押し、子機電波の受信を行ってください。

子機電波が受信停止の時の表示

●**アラーム**
子機温度に対してのみアラーム温度を設定できます。設定温度以上（HI）又は設定温度以下（LO）に達したらブザーを鳴らします。アラームの設定は「アラーム設定」の項を参照してください。

上部画面：子機温度
中段画面：アラーム設定温度
ベルマークが点灯します。
設定温度に達するとこのベルマークが点滅します。
下部画面：時計

●**ロガー（子機、親機のデータ）**
通常、子及び親機の表示温度を30分毎に12時間分をロギング（自動記録）しています。この機能を選択し、**サーチ**キーを押していくと30分毎にさかのぼりロギングされた温度を表示し、読み取ることができます。

上部画面：子機　ロギング温度表示
LGRが表示します。
中段画面：親機　ロギング表示
LGRが点灯します。
下部画面：ロギングの時刻表示

読みとりが終わったら温度表示に戻してください。

（2）**最高／最低温度メモリ（子機、親機とも）**
最高MAX／最低MINキーを押すと最高／最低温度を検出し、その温度と時刻のメモリを実行します。

上部画面：子機温度
MAX/MINが点灯
中段画面：親機温度
MAX/MINが点灯
下部画面：時刻

最高／最低温度の読み取り
再度このキーを押して行くと画面が以下のように変化し、メモリした内容を読みとることが出来ます。

子機最高温度と
その時刻表示

子機最低温度と
その時刻表示

親機最高温度と
その時刻表示

親機最低温度と
その時刻表示

上記表示状態から
再度**最高MAX／最低MIN**キーを押すと、メモリ実行中の画面に戻り最高／最低温度メモリを続行します。最高／最低温度メモリをクリア（解除）したい時は、**最高MAX／最低MIN**キーを2秒以上押します。

【ご注意】
この機能が設定されている間は表示切換はできません。アラーム、ロガーを選択する場合、この機能をクリアしてください。

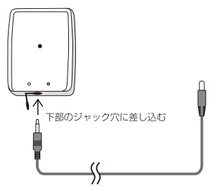
（3）**アラームの設定**
表示切換キーと**サーチ**キーを2秒以上同時に押し続けてください。アラーム設定モードになります、最高MAX／最低MINキーでHI（以上）、LO（以下）の選択、サーチキー桁送り、最高MAX／最低MINキーで各桁の数値を設定します。設定が完了したら、表示切換キーを押します。

設定画面

表示切替キーでアラームを選択すると、設定温度に達した時に以下の様にブザーが鳴り知らせます。
最初約4秒間…連続音
その後約1分50秒間…間欠音
※アラーム設定温度に達した状態が継続していても、アラーム音の鳴動は1回のみです。

（4）**子機の設置と外部センサの使用**
子機と親機の設置距離は見通し（直線）で約100mです。途中障害物が有るとその距離は短くなります。室内では30m位です。建物の構造や材質によって変わります。
冷蔵庫など金属で覆われた庫内には子機を入れないでください。子機の電波が遮蔽され親機に届かなくなります。
その様な場合、外部センサを使用し外部センサの先端を庫内に入れてください。

外部センサの使用



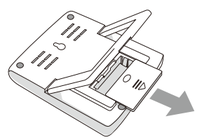
（5）**ご使用上の注意事項**

●使用中、何らかの原因で電波が一時的に途絶えた時、或いは本体や子機を移動した時など電波が途絶えることが有ります。自動サーチを行い電波の受信を待ちますが、一定時間を過ぎると自動サーチが中止され本体の子機温度が表示されなくなります。その様な場合、**サーチ**キーを押して子機の電波の受信を待ってください。
●到達距離は使用環境や建物の影響及び妨害電波の影響などで短くなる場合が有ります。妨害電波の影響により、子機から送られるデータが乱れ、数字表示が正しく　表示しないことが有ります。
●親機及び子機が高温又は低温の環境で使用された場合、受信感度が低下したり電波の発射が鈍ったりし、正常に動作しないことが有ります。
●本器に於いて、測定された結果の内容を保証するものではありません。必ずお客様の自己責任に於いて、ご使用ください。

5. 電池の交換

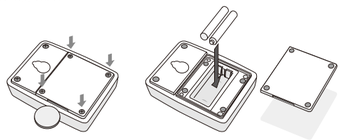
●電池の寿命はおおよそ1年です。親機は使用状況により（サーチを繰り返すなど）短くなる場合が有ります。電池が消耗してくるとそれぞれの表示エリアに B マークが表示されます。子機温度表示エリアに B マークが点灯したら子機の電池を、親機温度表示エリアに B マークが点灯したら親機の電池を交換してください。交換電池は単4アルカリ電池各2本です。

●**親機**
電池蓋を図のようにスライドさせて電池収納部を開き、極性を確認し電池を入れます。



電池を入れ終わったら電池蓋を元に戻します。

●**子機**
電池蓋にある4本のネジをプラスドライバーでゆるめ、電池蓋横の溝にコインなどを挟みこじ開けます。



電池を入れたら電池蓋を元に戻し、ネジを締めます。

●電池の交換が終わったらサーチキーを押し子機電波の受信を待ってください。

メンテナンス

⚠警告

不具合が生じたときは、弊社、または弊社代理店に修理を依頼してください。本器を分解することは、絶対にやめてください。精度の保証ができなくなります。

電池の交換のとき、濡れた手で本体内部をさわらないでください。付着した汚れは、乾いた柔らかい布、または中性洗剤を溶かした洗剤液に浸して固く絞った布で拭いてください。絞り方が不完全な布は使わないでください。

アルコールやシンナ、ベンジンなどの揮発性溶液は、絶対に使用しないでください。

子機の温度表示が出ない場合の対処方法
まず親機・子機とも B マークの表示が出ていないかを確認して下さい。
B マーク表示が出ている場合は親機・子機とも電池交換の上、下記手順を行ってください。

① 親機の電池は入れたままにして、子機の電池を抜きます。
② 親機のサーチボタンを押して、アンテナマークが全て表示されるのを確認します。
③ 子機の電池を抜いてから１０秒以上経過後、再び電池を入れます。
④ 電池を入れたら、直ぐに子機のランプ（LED）を確認してください。
⑤ ５秒位でランプが一瞬点灯した後、親機に子機の温度が表示されます。

上記の操作でもうまく表示が出ない場合は弊社販売店に修理依頼をご相談ください。

6. 製品仕様

●親機（本体）	
表示	液晶表示（時計、親機及び子機測定温度）
測定範囲	0℃～50℃（測定確度：±1℃）
親機測定温度表示更新間隔	10秒間隔
子機測定温度表示更新間隔	3分間隔
時計	24時間表示
機能	アラーム、ロガー、最高／最低温度自動メモリ
子機電波受信周波数	426.0875MHz
使用温度範囲	0～50℃
電源	単4アルカリ電池（1.5V）2本
寸法・重量	100（W）×120（H）×26（D）mm,約180g（電池含む）

●子機	
使用及び測定温度範囲	－10℃～50℃（測定確度±1℃）
機能	アラーム、ロガー、最高／最低温度自動メモリ
送信電波周波数	426.0875MHz
送信電力	1mW,特定小電力機器
到達距離	約100m（見通し、室内約30m）
電源	単4アルカリ電池（1.5V）2本
寸法・重量	72（W）×92（H）×26（D）mm,約100g（電池含む）

●付属品
外部センサー（防水2m）、吸盤1個、取扱説明書、単4乾電池(4個)

本製品に付属の電池は動作確認用です。そのため、取扱説明書上に記載されている電池寿命よりも短い期間で電池が消耗する事があります。